

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

フェリス女学院大学音楽学部（音楽芸術学科、演奏学科）について、受験生の進学動向に対応するとともに、過去における入学志願者状況を踏まえ、かつ教員組織、施設設備等の教育環境の整備状況を勘案し、次のとおり入学定員の変更を計画した。

収容定員（入学定員）変更計画

音楽学部（音楽芸術学科、演奏学科）

学科	現行		計画		現行と計画の差	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
音楽芸術学科	35	140	45	180	+10	+40
演奏学科	60	240	50	200	△10	△40
計	95	380	95	380	±0	±0

※ 変更時期・変更年次：平成 23（2011）年度 第 1 年次

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

資料 1「過去 5 年間の志願者実績」に見られるとおり、本学の音楽学部音楽芸術学科への入学を志願する受験生は安定した人数を維持しているが、演奏学科への入学を志願する受験生は暫減している。

音楽（系）学部の志願者数は全国的に減少傾向にあり、本学では演奏学科の志願者数にその影響が表れている。その一方で、幅広い音楽分野に関心を示す受験生数は安定しているため、このような需要の変化に対応することを目的として、音楽学部全体の収容定員を変更せずに演奏学科入学定員を 10 名減少し、音楽芸術学科入学定員を 10 名増加させることとした。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(1) 教育課程、教育方法及び履修方法の変更内容について

● 音楽芸術学科の主要な変更点

授業科目群 5 群（社会実践コミュニケーション）に「環境音楽デザイン」「身体表現ワークショップ」「映像音楽制作ワークショップ」「番組制作ワークショップ」「音響機器ワークショップ」「録音実技ワークショップ」「ポップスを楽しもう」「バンドを楽しもう」「アンサンブルを楽しもう」など社会のニーズに応えた授業科目

を新設する。また、専門ゼミを1クラス増設して、さらに幅広い音楽分野に対応し、選択肢を増やす。

- 演奏学科の主要な変更点

ソルフェージュ及びアンサンブルクラスを再編し、初年次教育の充実を図る。「2年次修了公開演奏」を設けることで、その成果を確認する。

また、学生それぞれの将来像に向けた取組を支援する3年次からの選択科目として、①演奏のプロを目指す、②教育系進路を目指す、③起業・就職を目指す、の科目群を設定し、将来設計を視野に入れた教育を行う環境をつくる。さらに、従来からの専攻実技に加え、新たに別納による初習個人実技、グループ実技を設け、副科実技の充実を図る。

(2) 教員組織の変更内容について

学生収容定員が音楽芸術学科において増員、演奏学科において減員となることに伴い、次のとおり音楽学部専任教員数を変更する。

- 音楽芸術学科

音楽芸術学科は、平成23(2011)年度に教員1名を増員し、専任教員7名の構成とする。

- 演奏学科

演奏学科は、平成22(2010)年度末に教員1名が定年を迎えるが、その補充を行わない。さらに完成年度の平成26(2014)年度までに2名の減員(定年退職及び任期満了)が生じるがその補充を行わず、合計3名の減員とし、専任教員9名の構成とする。

上記の変更にかかわらず、収容定員に応じた必要な専任教員数を確保しており、かつ柱となる専攻分野ごとに専任教員を配置しているため、教育に支障をきたすことはない。大学全体としても、収容定員に応じた必要な専任教員組織が担保されており、今後もこれを維持する。(資料2「専任教員配置計画」)

(3) 施設について

施設については、資料3「現有校舎面積」にあるとおり、変更後の教育に支障のない面積が担保されている。

以上